

事業計画

中期計画

第9期中期計画 (2026年度～2028年度)

～北陸ろうきんビジョン～ “みんなが笑顔になれる〈ろうきん〉へ～地域とともに、豊かな未来を～”

《メインテーマ》

4つの改革・強化策による革新と進化で企業価値を高め、「選ばれ続ける金融機関」を目指します

戦略Ⅰ．経営改革 ～着実な経営戦略の構築～	◆ ろうきん理念の実現によるろうきん運動の深化	・ 会員・推進機構との連携強化 ・ 自主福祉金融の実践による暮らしの向上 ・ サステナブル社会への貢献
	◆ システム更改を見据えた持続可能な経営基盤の構築	・ 収益構造の適正化 ・ 自己資本の充実 ・ 適正な収益・リスクのコントロール
	◆ 営業店舗の最適化	・ 老朽化対策 ・ 店舗機能の見直し
戦略Ⅱ．営業／業務改革 ～営業改革と業務改革の一体化～	◆ 取引基盤の拡大	・ 預貸ビジネスへの回帰 ・ 新規利用者拡大と顧客シェアの拡大 ・ 生涯パートナーとしての役割発揮
	◆ 生産性の向上	・ 営業店のセールス拠点への転換 ・ 取引チャネルの拡充 ・ 事務効率化の充実
	◆ 金融サポートの充実	・ お客様本位の業務運営の実践 ・ 金融リテラシー向上へのサポート
戦略Ⅲ．人財改革 ～人財基盤の強化～	◆ 人的資本の充実	・ 人財の確保・育成・活用 ・ ワークエンゲージメントの向上
	◆ 職場風土改革の確立	・ 健康経営の実践 ・ 職場内コミュニケーションの活性化
戦略Ⅳ．内部管理態勢強化 ～リスクマネジメントの確立～	◆ 管理態勢の強化	・ コンプライアンス意識の醸成 ・ マネロン・テロ資金供与対策の高度化 ・ 債権管理・危機管理態勢等の強化

北陸ろうきんの
めざす姿(ゴール)

北陸ろうきんは、働くひとの暮らしを守り、豊かな未来と
感動をお届けします

2026年度事業計画の重点取り組み施策

第9期中期計画(2026年度～2028年度)の初年度として、2026年度事業計画では、以下の重点施策に取り組みます。

- ① 会員・推進機構と連携した「ろうきん運動」を展開し、勤労者の生活向上を支援します。
- ② システム更改を見据え、経営の「収益性」「効率性」を改善し、収益構造の適正化を図ります。
- ③ リスクアパタイト議論の活性化を図り、適正な収益確保を目指します。
- ④ 「グッドマネー運動」の展開を通じて、預金・融資の残高拡大に取り組みます。
- ⑤ DXの活用や事務の見直しにより、営業店のセールス機能の強化を図ります。
- ⑥ 「お客様本位の業務運営」を実践し、資産形成を支援します。
- ⑦ 人財を資本の源泉と捉え、やりがいを持って働ける職場風土を構築します。
- ⑧ コンプライアンス意識の醸成やマネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策、サイバーセキュリティ対策に取り組みます。
- ⑨ 令和6年能登半島地震・奥能登豪雨への復興支援に取り組みます。

2026年度計数計画

● 預金・貸出金計画

預 金	残高増加目標額	50億円
貸出金	残高増加目標額	108億91百万円
	新規実行目標額	590億円 有担保380億円 無担保210億円

※上記計画の結果、預金・貸出金の残高は以下のとおりとなります。

(単位：百万円)

	期首残高	期末残高	期中増加額	期中増加率
預 金	818,711	823,711	5,000	0.610%
貸出金	542,041	552,932	10,891	2.009%

● 収支計画

(単位：百万円)

支出の部		収入の部	
経 常 費 用	10,604	経 常 収 益	11,285
特 別 損 失	16	特 別 利 益	—
法 人 税 等	164		
当期純利益	500		
合 計	11,285	合 計	11,285

2026年度事業計画におけるリスクアペタイト

① リスクアペタイト・フレームワーク (RAF)

「リスクアペタイト・フレームワーク (RAF)」とは、会員の皆さまの信頼に応える健全経営の実現（ろうきん理念の実現）のため、適正なリスクアペタイトによる必要な収益の確保をめざす取り組みです。また、その取り組みを明文化したものを「リスクアペタイト・ステートメント (RAS)」といいます。

② 2026年度事業計画におけるリスクアペタイト・ステートメント (RAS)

当金庫は、会員の皆さまの信頼に応える健全経営の実現（ろうきん理念の実現）のため、適正なリスクアペタイトによる必要な収益の確保を目的とします。

(1) リスクアペタイト方針

事業計画達成のため、リスクアペタイトの種類・量については、金融政策・圏内の市況を踏まえ、より多くの収益機会を追求（リスク・リターンの上昇）しつつ、リスクをコントロールした経営を意識して決定し、その管理を行います。

(2) リスクアペタイト指標

第9期中期計画の計数計画「めざす姿」を「重要目標達成指標 (KGI)」とし、目標達成のためのモニタリング指標を「重要業績評価指標 (KPI)」 「重要リスク指標 (KRI)」として設定します。

【重要目標達成指標 (KGI)】

KGI項目	2026年度	第9期中期計画 「めざす姿」
当期純利益	5億00百万円以上	10億00百万円以上
自己資本比率	8%以上	8%以上
OHR	93.0%以下	83.8%以下
コア業務純益	5億00百万円以上	12億70百万円以上

【重要業績評価指標 (KPI)】

KPI項目	2026年度
貸出金利息	72億10百万円以上
余裕資金運用 (預け金利息・有価証券利息配当金等)	28億30百万円以上
預金残高増加額 (前年度末比)	50億00百万円以上

【重要リスク指標 (KRI)】

KRI項目	リスクアペタイト指標	2026年度
金利リスク	IRRBB (重要性テスト比率)	33.39%以下
市場・信用リスク	有価証券リスクウエイト	50.99%以下
与信信用リスク	代位弁済率 ※ (有担保・無担保)	有担保 0.109%以下 無担保 0.238%以下
健全性リスク	リスクアセット	4,922億円以下
流動性リスク	預け金残高	1,633億円以上

(※変動保証料対象商品にて算出)